

2021年度 東京学生柔道体重別選手権大会(男子40回 女子37回) 大会要項 9/22現在

- 1、大会名 2021年度 東京学生柔道体重別選手権大会(男子40回 女子37回)
(兼 全日本学生柔道体重別選手権大会予選、兼 全日本学生柔道体重別団体優勝大会予選)
- 2、主催 東京学生柔道連盟
- 3、後援 (公財)日本武道館、(公財)講道館、(公財)東京都柔道連盟、(一社)全日本学生柔道連盟
- 4、日時 2021年10月 17日(日) 男子4階級 (60kg級、66kg級、73kg級、81kg級)
23日(土) 男子3階級 (90kg級、100kg級、100kg超級)
24日(日)女子7階級(48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、
78kg級、78kg超級)
開場：午前8時00分 開会：午前9時00分
- 5、会場 講道館 (文京区春日1-16-30)
- 6、競技規則
- イ、参加資格 公益財団法人 全日本柔道連盟並びに本連盟の加盟校の在籍者に限る。
(2021年4月1日以降、実業団、その他の職域チームに属して試合に出場した者は参加資格が無い)
男子7階級 (60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級)
女子7階級 (48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級)
に該当するもので、計量に合格した者に限る。
2年次においては1年次の修得単位数が20単位以上の者。
3年次においては1.2年次の総修得単位が40単位以上の者。但し、特例措置対象者を除く。
4年次においては1,2,3年次の総取得単位が70単位以上の者。(詳細は別紙)
- ロ、試合方法 試合は階級ごとのトーナメント方式にて実施、試合時間は男女ともに4分間とする。
- ハ、審判規定 試合は国際柔道連盟試合審判規定によって行う。
細目は審判員会議で申し合わせる。
- ニ、柔道衣 (公財)全日本柔道連盟柔道衣規定に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。
ゼッケン 出場選手は所定のゼッケンを柔道衣に付ける。(詳細は別紙)
紅白帯 試合に出場する人数分を各大学で用意する。
- 7、各校出場枠
- 《男子》
- イ、出場選手の総数
1校につき出場選手の総数は当年度東京学生柔道優勝大会出場校16校及び、それ以外の加盟校で全日本学生柔道優勝大会出場の見込となった4校が14名以内とし、前記の計20校以外の参加校は7名以内とする。
ただし、一昨年度全日本学生柔道体重別選手権大会出場者が同階級に出場する場合は枠外とし、上記の制限に含まない。
- ロ、1階級の制限
男子1階級は5名以内。ただし前記の通り昨年度全日本学生柔道体重別選手権大会出場者が選手総数の枠外として出場する場合は、1階級の制限は8名以内とする。
- 《女子》
- 1校につき出場選手の総数は14名以内。各階級の人数制限は設けない。
ただし、一昨年度全日本学生柔道体重別選手権大会出場者が同階級に出場する場合は枠外とし、上記の制限に含まない。
- 8、推薦選手規定 推薦選手の基準は以下とし、該当する選手は今年度全日本学生柔道体重別選手権大会出場者として、『イ、(一社)全日本学生柔道連盟』および『ロ、東京学生柔道連盟』より推薦される。
《男子》イ、(一社)全日本学生柔道連盟からの推薦選手
①一昨年度優勝者及び準優勝者は主催者推薦とする。ただし、該当者が出場しない場合は各地区枠に

充当できる。

②今年度世界選手権大会に日本代表として出場する学生は、主催者推薦とする。

また、日本代表以外の当連盟登録選手についても、6月末の世界ランキングが50位以内で世界選手権大会に出場する場合は、主催者推薦とする。

ただし、この条件で推薦を得た選手の大会出場の表明は申込締切日までとする。

ロ、東京学生柔道連盟からの推薦選手

(当連盟からの全日本学生柔道体重別選手権大会出場枠数に含まれる。)

- ・昨年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会優勝者(同階級とする)
- ・今年度全日本選抜柔道体重別選手権大会優勝者(同階級とする)
- ・昨年度全日本柔道選手権大会ベスト4以上(東京大会申込締切迄に出場階級を申告)
- ・過去1年間に開催された国際大会で顕著な成績を残し理事会において承認された選手(同階級とする)

《女子》イ、(一社)全日本学生柔道連盟からの推薦選手

①一昨年度優勝者及び準優勝者は主催者推薦とする。ただし、該当者が出場しない場合は各地区枠に充当できる。

②今年度世界選手権大会に日本代表として出場する学生は、主催者推薦とする。また、

日本代表以外の当連盟登録選手についても、6月末の世界ランキングが50位以内で世界選手権大会に出場する場合は、主催者推薦とする。

ただし、この条件で推薦を得た選手の大会出場の表明は申し込み締め切り日までとする。

ロ、東京学生柔道連盟からの推薦選手

(当連盟からの全日本学生柔道体重別選手権大会出場枠数に含まれる。)

- ・昨年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会優勝者(同階級とする)
- ・今年度全日本選抜女子柔道体重別選手権大会優勝者(同階級とする)
- ・昨年度皇后盃全日本女子柔道選手権大会優勝者(東京大会申込締切までに出場階級を申告)
- ・過去1年間に開催された国際大会で顕著な成績を残し理事会において承認された選手(同階級とする)

※全日本柔道連盟から派遣された世界的規模の国際大会日程が東京学生柔道体重別選手権大会の開催日と重なる場合に関しては当該国際大会の結果に拘わらず、理事会で検討する。

9、選手計量	【男子】2021年10月16日(土)	予備計量	15時30分～16時00分	本計量	16時00分～16時30分
		場 所	講道館 2階 第4会議室 教室		
	2021年10月22日(金)	予備計量	15時30分～16時00分	本計量	16時00分～16時30分
		場 所	講道館 2階 第4会議室 教室		
	【女子】2021年10月23日(土)	予備計量	15時30分～16時00分	本計量	16時00分～16時30分
		場 所	講道館 2階 第4会議室 教室		

10、表 彰 男女共各階級3位までの入賞者(56名)を表彰する。

11、審判員 審判員は1試合場3審制8名とし、4試合場32名によって行う。(Cライセンス以上)

12、参加申込

イ、受付期間 WEB申込期間 2021年7月12日(月)～7月14日(水)
書類申込期間 2021年7月16日(金)メールにて午後5時00分まで
※上記の申込期間、受付時間外の申し込みは認められない。

ロ、申込先 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階 東京学生柔道連盟
TEL 03-6240-0048 FAX 03-3818-1960

ハ、申込方法 申込責任者は各大学監督とし、WEBにて申し込みを行い、下記の書類を持参する。

- ① 参加選手の在学証明書並びに健康診断書(発行3ヶ月以内)
※但し、本年度においては1年生のみ在学証明書の提出を行うこと。健康診断書は全員必要。
- ② 大会参加費振込の完了が確認できるもの(振込控、振り込みに用いた通帳など)
- ③ IDカード(氏名を記入し写真を貼り持参)
※上記の申込書類すべてを持参しなければ申し込みは認められない。

- 二、参加費 参加選手1名につき2,000円とする。
【2,000円×参加選手数】を下記の指定銀行に振り込む。
 ※参加費は振り込みのみとし、それ以外は一切受け付けない。参加費の振込期限は
 2021年7月14日(水)正午とし、振り込みが確認出来ない場合は
 本大会の参加は認めない。
 ※推薦選手は参加費を必要としない。
 《振込先》みずほ銀行 東京中央支店(普通) 6795245
 東京学生柔道連盟 会長 白瀬 英春
- ホ、選手変更 選手の変更をする場合は、本連盟事務所にて所定の日時までには手続きを行う。
 今大会は3日間開催にて行い、大会開催日程が17日23・24日と週を挟むが全階級統一
 選手変更を、日時 **2021年10月1日(金)** 午後5時00分までとする。
 ※選手変更は同一階級に限り認める。変更後選手のIDカード用写真・健康診断書・
 在学証明書変更前選手の辞退理由書(怪我・病気の場合は診断書も添付)を必ず持参。

- 13、抽 選 2021年8月4日(水) 午前10時00分～ オンライン
 女子軽量級から男子重量級までを順に行う。
- 14、審判員会議 2021年10月17日(日) 午前8時20分～ 講道館 大道場
 2021年10月23日(土) 午前8時20分～ 講道館 大道場
- 15、監督会議 2021年10月16日(土) 午後5時00分～ オンライン
 2021年10月22日(金) 午後5時00分～ オンライン
 大会上の注意事項の伝達を行うので、申込時に登録した監督
 が必ず出席する。出席できない場合は委任状を提出する。
 無断欠席した場合には出場が認められないこともあるので注意する。
 ※学生には委任できない。
- 16、安全対策 イ、主催者は大会出場選手に対する傷害保険に加入するとともに、指定救急病院を手配する。
 ロ、試合場に医師を配置し救急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。
 ハ、大会当日、出場選手は必ず保険証(コピー不可)を持参する。
- 17、その他 ①今年度全日本学生柔道体重別選手権大会の出場者については、東京大会申込時の人数を確認後、主催者
 側にて各階級の人数を決定する。
 ②今年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会(男子)の本連盟代表校を選考するにあたっては今大会の
 結果(成績)をポイント化し、決定する。(詳細は別紙)
 《皮膚真菌症について》
 皮膚真菌症(トンスランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。
 感染が疑わしい、もしくは感染が認められた選手については、迅速に医療機関において的確な
 治療を行う。もし選手に皮膚真菌症の感染が認められた場合は、大会への出場を禁止する。
 (ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める)
 《個人情報取り扱いについて》
 ・webでの申込に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、または動画が、大会プログラム、
 大会ホームページに掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、
 テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。
 ・提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはありません。
 ・webでの申込により、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をさせていただきます。
 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策については決定次第通知する。

以上